

基本理念 希望のある医療



まぼろしへのかけはし

慢性腎臓病（CKD）と世界腎臓デー

内科部長 大山 敦嗣

わが国で腎機能不全のために血液透析を受けている患者数は 2016 年末で約 33 万人となり、国民約 380 人に 1 人が透析を受けている計算になります。

1986 年の透析患者数は 7 万人あまりでしたので、この 30 年間で著しく患者数が増加したことがわかります。患者数が増えた原因はもちろん糖尿病をはじめとする成人病の増加がまず挙げられますが、それ以外にも日本人の寿命が延びて高齢化が進んだことがその大きな要因になっています。75 歳以上の後期高齢者に限って言えば 155 人に 1 人が透析を受けていて、透析医療がわれわれ国民にとって決して人ごととは言えない状況になっています。

透析を受けることは患者の日常生活にとって負担になるのはもちろんですが、透析医療の長足の進歩にもかかわらず、長期に透析を受けることにより生じるいろんな合併症も未だに完全には防ぎきれず、さらに患者の健康がむしろ悪くなることにもなります。

また、40 兆円あまりと言われる国民医療費の中で透析療法だけで約 1 兆 5000 億円が費やされており、医療費の観点からも腎不全のために透析療法が必要になる患者を減らすことが求められています。透析患者を増やさないためには医療者が病院で患者を待ち受けているだけでは限界があり、どうしても個々の人々が自身の健康に関心を持ち、必要な場合は早期に医療機関を受診していただくことがたいせつです。

そのために国際腎臓学会と腎臓財団国際連合が 3 月の第 2 木曜日（平成 30 年は、**3月8日**）を世界腎臓デーと定め、日本では日本腎臓学会、日本小児腎臓学会、日本透析医学会が 3 学会合同で日本慢性腎臓病対策協議会を設立して腎臓病の啓発活動を行っています。

そして、将来透析が必要になりやすい状態を慢性腎臓病（CKD）として、早期に医療機関を受診していただけるようさまざまな試みがなされています。

早期受診しましょう



大山医師は現在 月曜日に外来診療しています

曜日	月	火	水	木	金
午前	●				
午後					



受付：8：30～11：00

お知らせ

1. 医師の異動

平成30年3月末

外科 山名 秀典医師
乳腺外科 稲尾 瞳子医師
整形外科 中村 圭医師
皮膚科 坂口 正展医師
形成外科 近藤 千紗医師

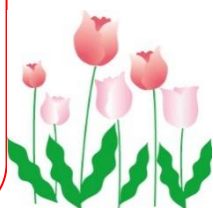
が退職致します。

2. 3月のホッとひと息寄り道講座

日時： ①3月12日(月) ②3月28日(水) 10：00～10：30
場所： 正面玄関ホールの公衆電話前
テーマ： 認知症について
講師： 作業療法士

3. オープンカンファレンスについて

3月のオープンカンファレンスはありませんので、お知らせ致します。
今年度は、地域の先生方や薬剤師、看護職、介護職の様々な職種の方々に参加頂き、ありがとうございました。意見交換の中で、今後の活動に参考になることも多くありました。
平成30年度はこれらのご意見を参考に、計画をすすめていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



きほうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33-1

TEL 079-442-3981 (内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>

